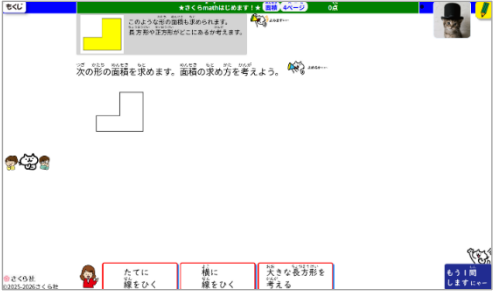
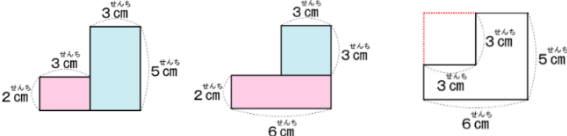


付けたい力：

- ・複合図形を分けたり補ったりして、3つの方法で面積を求めることができる。
- ・複合図形の面積の求め方を式に表して、正しく計算することができる。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 復習問題で、既習事項を確認する。 T：公式を使って答えましょう。</p> <p>2 めあてを確認する。 T：今日は、「L」の形をした図形の面積を求める式を考えます。</p> <p>3 &lt;さくら math&gt;の画面を提示して、3つの考え方を確認する。</p>  <p>4 3つの考え方を順に試して、答えが同じになるか試しましょう。</p>  <p>T：&lt;さくら math&gt;を使って、3つの考え方を順に試していきます。</p> <p>T：計算した答えを、黒板にメモして最後に比べます。</p> <p>5 どの方法を使っても、同じ答えになることを確認する。 T：わかったことを、一言でまとめましょう。</p> <p>6 教科書の問題を各自でノートに解く。 T：自分に合った方法で、教科書の練習問題を解きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* どの問題も、同じ方法で解く。</li> <li>* 一問を3つの方法で解く。</li> <li>* 問題毎に違う方法で解く。</li> </ul> <p>7 本時のまとめ、ふりかえりをする。 T：今日の感想を發表しましょう。</p>	<p>1 前時までに学習した、長方形の面積と正方形の面積を求める問題を提示する。 ・テンポよく、5問程度を解く。</p> <p>2 めあてを板書する（または、大型モニターやプロジェクターで提示する）。</p> <p>3 &lt;さくら math&gt;の面積4ページを大型モニター等に提示する。展開4に進む前に、それぞれのヒントの意味（線を引く場所や、長方形や正方形がいくつできるか）について問いかけて、話し合う。</p> <p>4 「たてに線をひく」、「横に線をひく」、「大きな長方形を考える」の順に、児童に問いかけながら解いていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに、何本の線を引いたか。</li> <li>・長方形（正方形）がいくつできたか。</li> <li>・それぞれの長方形（正方形）の面積を公式で求めると何cm<sup>2</sup>か。</li> <li>・元の図形の面積は、たし算とひき算のどちらで求めるか。</li> <li>・元の図形の面積は何cm<sup>2</sup>か。</li> </ul> <p>6 机間巡視して、個別の支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了時刻を明示する。</li> <li>・問題の図をプリントにして配付する（裏面に答えを印刷して、各自で答え合わせができるようにする）。</li> <li>・個別最適化の場面として、児童が意欲的に取り組む雰囲気作りをする。</li> <li>・&lt;さくら math&gt;を見て解き方の手順を確認するように助言する。</li> <li>・式と途中計算、単位を正しく書くことができているか確認する。</li> </ul> <p>7 児童の発言を肯定的に受け止める。</p>